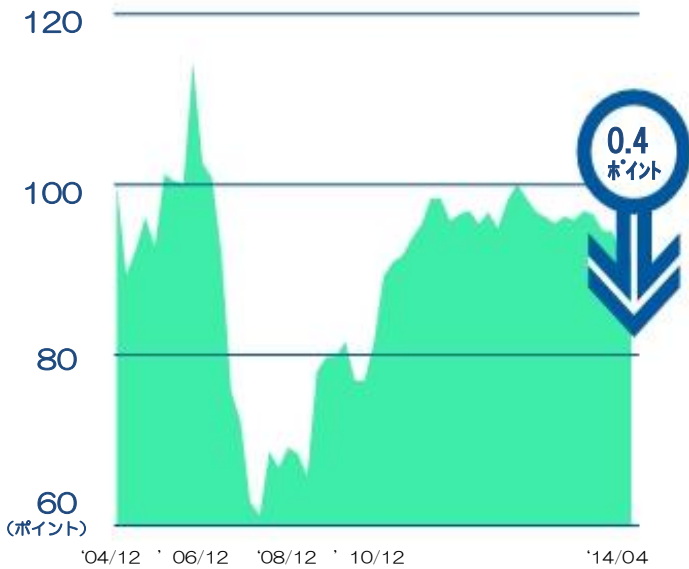


2014年 5月

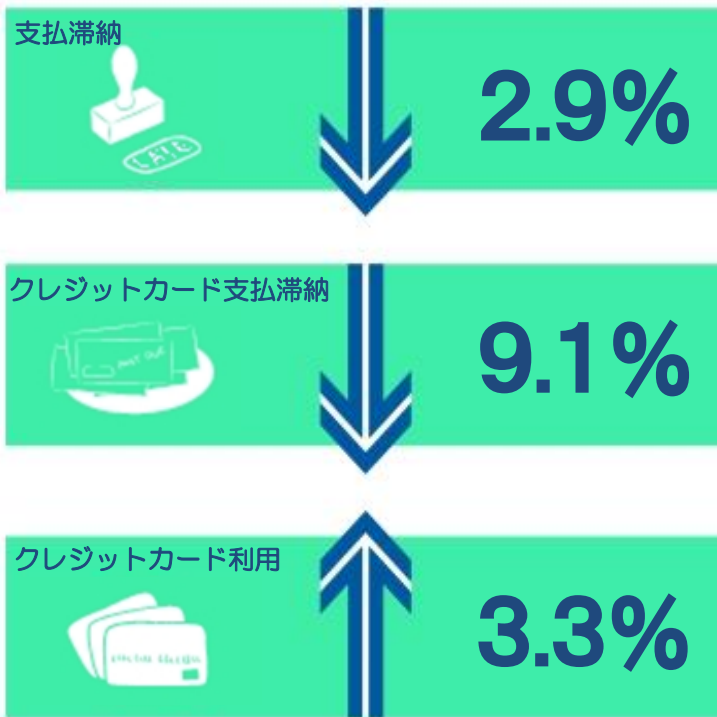
www.dnb.com/tracker

中小企業健全性指数

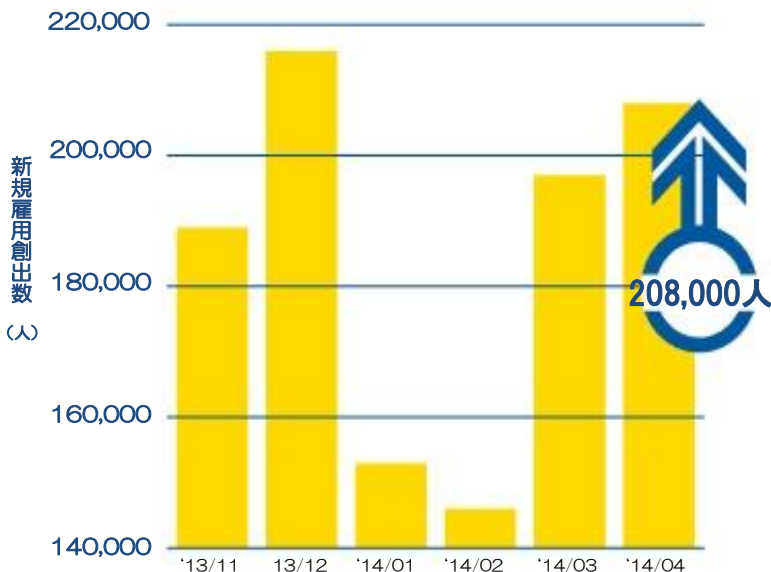


出典：D&Bグローバルデータ、インサイト&アナリティクス

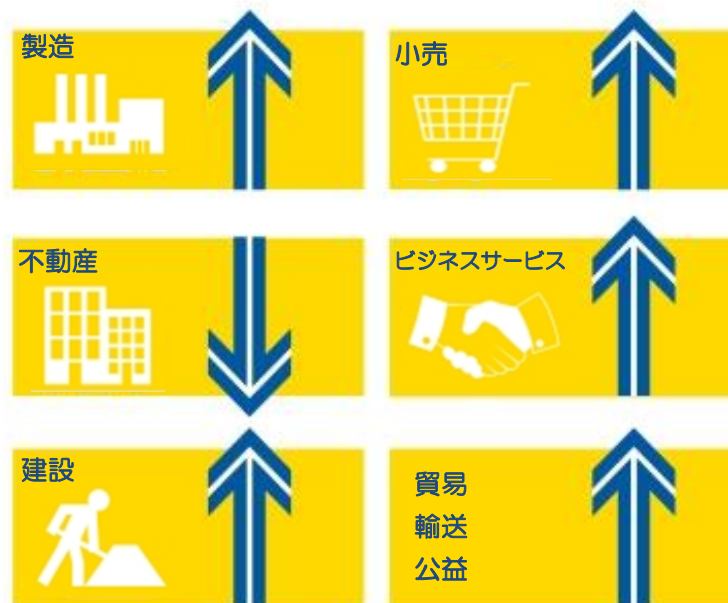
今回のレポート対象期間の4月、D&B中小企業健全性指数は安定を見せ、中小企業セクター成長の可能性を示唆しています。ただし、米国経済における売上高成長は力強さに欠け、課題は残ります。



米国の雇用健全性



出典：D&Bグローバルデータ、インサイト&アナリティクス

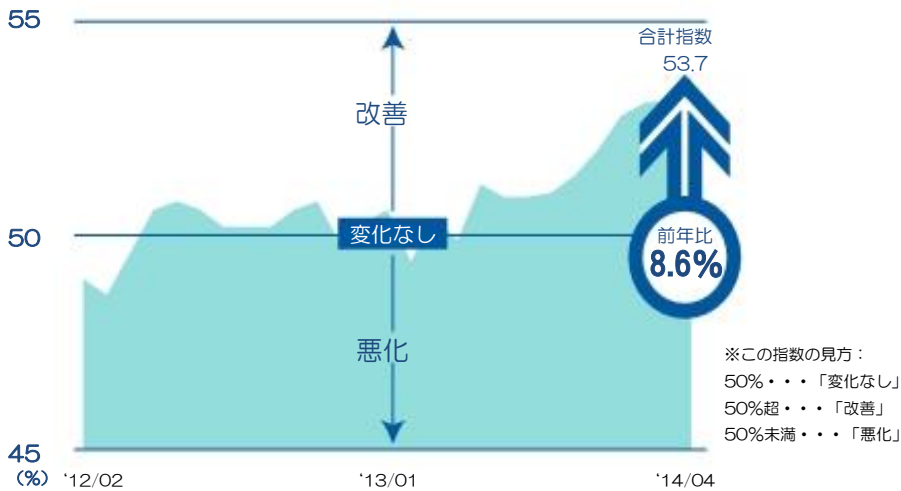


D&Bの推定では、2014年4月、小売および製造部門の著しい雇用増により、米国の新規雇用創出数は208,000人となりました。

2014年 5月

www.dnb.com/tracker

米国企業健全性指数



出典：D&Bグローバルデータ、インサイト&アナリティクス

2014年4月、米国企業の健全性は、前年比8.6%改善しました。
企業の破綻リスクは下がり、支払は引き続き期日まですべて行われています。

存続可能性 ↑ 12.2%

滞納 ↓ 2.3%

総損失 ↓ 11.6%

解説

2014年4月の「D&B米国経済健全性レポート」では、米国経済の手堅い改善が見られます。数カ月間悪化していた中小企業健全性指数が安定しました。新年早々の寒波が北東部と中西部に大きな打撃を与えましたが、中小企業は堅実に期日どおりの請求書支払とクレジットカード支払を続けています。また、新規雇用創出数は小売および製造部門での力強い雇用増に牽引され、推定208,000人となりました。こうした影響から、4月の米国企業健全性指数は一段と上向き、53.7という指数を記録しました。これは2010年12月にこの指数を算出し始めて以来、最高水準の記録です。D&B存続可能性格付け、滞納予測、総損失予測の加重平均に基づく、米国企業はバランスシートおよび財務の健全性を維持しています。ただし、このように一部のセクターには希望の兆しが見られるものの、全体的に見ると米国経済の回復は依然として不安定であるといえます。

各指数の算出方法について

「中小企業健全性指数」は、支払パターン及びクレジットカードの利用等の加重により、中小企業の前年比実績を測定評価したものです。「米国の雇用健全性」は、中小企業健全性指数の業界データを米国労働統計局（BLS）の数値と組み合わせて、毎月の非農業部門雇用者数を予測したものです。「米国企業健全性指数」は、D&Bの存続可能性格付け、滞納予測、総損失予測の加重平均の前年比増減を示したものです。変化の大きさを測定する累積景気動向指数（累積DI）には、ゼロ（全企業が高リスクを記録）から100%（全企業が低リスクを記録）までの幅があります。データについては、2014年4月25日の時点で入手可能なデータを元にしています。

詳細についてはウェブサイト (www.dnb.com/tracker) をご覧ください。

ダンアンドブラッドストリート® (D&B) について

ダンアンドブラッドストリート (NYSE:DNB) は、商業情報およびビジネスインサイトを提供する世界有数の情報提供企業であり、172年にわたって企業の「Decide with Confidence® (確信のある意思決定)」を支援してきました。D&Bのグローバル商業データベースには、2億3000万件以上のビジネスデータが記録されており、お客さまに質の高いビジネス情報を提供するD&B独自のDUNSRight®品質保証プロセスが、このデータベースを強化しています。これら質の高い情報は、お客さまが重要なビジネス決定を行う上で信頼を寄せている当社のグローバルソリューションの基礎となっています。

© Dun & Bradstreet, Inc. 2014. All rights reserved. (DB-3799 5/14)